

組織目標評価報告書（令和7年度）

部局名：腸健康科学研究センター		部局長名：成瀬 恵治
目 標		目標に対する達成状況(成果)及び新たに生じた課題等
①教育領域	関連する 中期計画の番号	
		教育領域における目標の達成状況及び新たに生じた課題等
②研究領域	関連する 中期計画の番号	
		研究領域における目標の達成状況及び新たに生じた課題等
①本センターの研究体制を強化するため、各ユニットにおける研究を推進しつつ、総括管理部門が中心となり、ユニット間の研究連携・研究協力体制の拡充を図る。	(8-2)	①本センターの研究体制の強化と学際化のため、環境生命自然科学学域の教授1名と准教授1名、保健学域の准教授1名、医歯薬学域の教授1名、特任助教2名(うち1名は外国人)を適切な研究・調査ユニットに加えた。一方、ユニット間の研究連携・研究協力体制の拡充に関しては、各研究・調査ユニットの研究内容や将来計画を共有するため、令和8年2月9日に本センターの教員を中心とするシンポジウムを鹿田地区で開催した。
②炎症性腸疾患センター、インド感染症共同研究センター、インド国立細菌感染症研究研究所等と連携し、昨年度に開始した共同研究・国際共同研究を継続して実施するとともに、新たな(国際)共同研究1件以上を年度中頃までに開始する。	(8-1)	
③センターの専任教員においては、科研費(1件)および科研費以外の外部資金(1件以上)に積極的に申請し、自己資金のさらなる獲得を目指す。		
③社会貢献(診療を含む)領域	関連する 中期計画の番号	
		社会貢献(診療を含む)領域における目標の達成状況及び新たに生じた課題等
④管理運営領域	関連する 中期計画の番号	
		管理運営領域における目標の達成状況及び新たに生じた課題等
⑤センター・機構等業務	関連する 中期計画の番号	
		センター・機構等業務における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等
①本センターの総括研究管理部門が中心となり、昨年度に続き、腸研究に関する学内リソースの統合を目的としたシンポジウムを開催する。	(8-1)	①腸研究に関する学内リソースのさらなる統合を目的として、鹿田地区において、令和8年2月9日に第2回腸健康科学研究センターシンポジウムを開催した。
②本センターの活動等に関する情報を学内外に発信・公表するため、昨年度に開設した日本語版ホームページの拡充を図るとともに、英語版ホームページを開設する。令和7年度中に、全ユニットの紹介ページを両言語で公開する。		
③医歯薬学総合研究科等との連携による共同研究の一環として、研究科の学生の研究指導に協力する。		
④カウンターパートのインド国立細菌感染症研究研究所と連携し、学生や若手研究者の育成を目的とした研修・インターンシッププログラムを令和8年度に開始するため開発を進める。	(4-1)	

注1) 本様式全体が1ページに収まるよう作成してください。
注2) 自己評価による達成度(5～1)は非公表項目とし、組織目標評価結果を公表する際に消去します。